

# 不撓不屈

ふとうふくつ

## 厚労省認定

2018年12月、ペンギンシステム（茨城県つくば市）は、若者の採用・育成や雇用管理が優良な企業を厚生労働省が認定する「ユースエール認定制度」に選ばれた。茨城県内では4社目で、IT事業者では県内初となる。

## ペンギンシステム ④

### モノづくりの1手

「前社長の松永明を「手当」として支給するはじめ、この会社で働いて、長時間残業することのある人は皆、真摯な気持ちをなくした。」「残業手当」を持ち、常務の神を減らしたい」と社員に池智生も持つ。全員がそれを当たり前としている点が競合に負けない強みの一つ。

### 時間を手当に

東日本大震災の前までは、残業代稼ぎのいわゆる「生活残業」が見受けられた。震災で取引先が被災し、経営が危機的状況に陥った時も続いていた。この危機を構造改革の好機と捉えた仁衡は、残業代相当の時間分を

「手当」として支給する。はじめ、この会社で働いて、長時間残業することのある人は皆、真摯な気持ちをなくした。」「残業手当」を持ち、常務の神を減らしたい」と社員に池智生も持つ。全員がそれを当たり前としている点が競合に負けない強みの一つ。

受注する仕事の内容も抜本的に見直す。仁衡も現場に出ている頃は客先

に常駐して開発する仕事

# 次世代に「真摯さ」伝承



ユースエール認定企業となり、従業員を集めて記念撮影

5年ほど前から新卒採用を開始。神池がさまざまな業務に

### 垣根なくす

20年度の新卒採用から対応しやすいように枠組みを整備し、新人でも一学部出身で、モノづくり定レベルの業務がこなせる仕組みを構築した。仁衡の視点なくしては、

うに、先輩から後輩に教えるやり方は受け継ぎたい。」「自分が入社時に先にいられる体制を整え

この仕組みのおかげで、新人は勉強しながらだとう」と振り返る。仁衡は「ソフトウェアに文理は関係ない」と話す。」「プ

この会社は続かなかつた。」「プ・高橋沙世子が担当しま

い物事を言語化する能力が大事」といい、神池もその考えに同調する。

仁衡は社員たちに「ITはモノづくり」と伝えている。「IT」というと世間的には浮いたイメージもあるが、職人技を必要とし、良い物にするため地道に取り組むものだと考えている。れっきとしたモノづくりだ。次世代の若手にもそれらを地道に伝え続け、自社の企業価値を高めるため今日も「真摯」に、ITという「モノづくり」に取り組み続ける。

（敬称略）

（この項おわり。茨城県高橋沙世子が担当しました）